

第4回松山駅まち会議の意見概要と対応

参考資料

意見分類	内容	対応方針
議事1:松山駅前広場等基本設計(デザイン検討)について		
景観	・駅はまちの玄関でもある。駅前広場にいる人から列車が見える、あるいは、鉄道に乗っている人から広場が見えるという、「見る・見られる」の視点でも検討いただきたい。	→実際に模型を作りながら、「見る・見られる」の視点について検討している。引き続き、視点場の創造に積極的に取り組んでいきたい。
バリアフリー	・大手町通りや宮田町の路面電車の電停と歩道のアクセスが危険であるため、バリアフリー化し、安全を確保していただきたい。 ・路面のデザインについては、誘導ブロックを濃い黄色にするなど工夫をお願いしたい。	→道路や敷地の制約等により、バリアフリー化が困難な電停や駅は、道路整備などに合わせて改良している。 →松山駅周辺の駅前広場や道路の新設・改築にあたっては、道路の移動等円滑化に関するガイドラインに基づいて整備している。視覚障害者誘導用ブロックは黄色を基本とし、舗装との十分な輝度比を確保するなど、視認しやすいものにする。
議事2:松山駅西口のデザインについて		
デザイン	・駅舎の上半分のガラス部分を長屋門の白い壁とみなすデザインは、白さをどのように演出するのかを検討、確認する必要がある。	→白い色味の屋根部分の写り込みに加え、ガラス素材のため列車の発着の様子も見え、様々な列車で彩りを加えるデザインとしている。
デザイン	・空調を意識して駅舎の色味を黒く整えたことと思うが、西口は広場空間が広々としていないため、白を基調として、開放感のあるデザインを検討してはどうか。 ・空調の位置を駅の玄関口を避け、周辺のビルに隠れる場所にできないか。	→空調の位置は限定されているが、極力目立たない位置にしている。 →空調以外にも、松山駅の西側に広がる旧村・郊外に向けた落ち着いた雰囲気を出す長屋門のイメージで上手く馴染ませ、全体の統一感が出るようダークな色味にしている。
議事3:バスタプロジェクトについて		
デザイン	・バスタの規模が大きい場合、鉄道の構造物を塞いでしまう可能性がある。塞いでいるフロアを硝子張りにするなど、抜け感を持たせたデザインを検討する必要がある。	→バスタの整備の中で検討したい。
景観	・現在の JR 松山駅周辺には平面の駐輪場が多数あるが、駅を降りて、自転車が並んでいる景色が目につくのは美しくない。	→駐輪場は、極力、鉄道の高架下を有効活用するよう検討を進めている。
景観	・JR 松山駅の周辺にビルが連立し、駅が埋没してしまわないよう十分に配慮し、検討していただきたい。	→駅周辺の土地利用について、関係者と協議しながら検討を進める。